

南アルプス市立櫛形中学校 前期自己評価書

令和4年8月24日

校長	上 田 直 人	記入責任者	教頭 吉原 仁実
校訓 高登彼岸 ～高い理想の境地をめざし、その目的地に 登りつくよう懸命の努力を惜しむな～ 学校教育目標 ○確かな学力 ○豊かな心 ○健やかな体			
I 評価方法			
生徒・保護者・教職員の3者に対して、アンケート形式によりWEB上で回答を得た。質問に対しての回答選択肢は4段階になっている。 A：とても、よく～している B：だいたい～している C：あまり～していない D：～していない A，Bは肯定的なプラス評価であり，C，Dは否定的なマイナス評価である。A，Bの区別とC，Dの区別は，回答者の回答時の性格・状況等により変わることもあるので，厳密に区別するのではなく，プラス傾向，マイナス傾向としてまとめて評価する方が全体の傾向がつかみやすくなる。 そこで，A・B・C・Dの選択肢を点数化し，A＝4，B＝3，C＝2，D＝1として集計し，回答者数で割って平均点数を求めた。平均点数は次のような意味を持つ。 ○全体にプラス評価（A・B）が多ければ，平均点は2.5点以上になり4に近づいていく。 ○全体にマイナス評価（C・D）が多ければ，平均点は2.5未満になり1に近づいていく。 なお，生徒，保護者のアンケート回答の選択肢として，E：わからない があるが，これは点数には含めていない。			
II 全体評価			
○教職員の自己評価，生徒アンケート，保護者アンケートのそれぞれの集計結果を見ると，いずれも肯定的な評価が高い結果となった。 ・教職員自己評価結果では，23項目中21項目で評価の平均が3.0を上回る高い評価であった。 ・生徒アンケートでは，21の質問項目中，平均点数化できる19項目のうち16項目で評価の平均が3.0を上回る結果であった。 ・保護者アンケートでは，16の質問項目中，平均点数化できる14項目のうち13項目で評価の平均が2.5を上回る結果であった。そのうち，評価の平均が3.0と高い項目数は6項目			

目であった。

以上のことから、楡形中学校では学校教育目標の実現に向け、一人一人の教職員が、保護者の理解と協力の下、職務に真摯に向かいあい遂行してきたことで、学校教育活動全般において生徒に適切な指導が行われ、結果、生徒と保護者に肯定的に評価されていると考えられる。従って、本校の学校評価に係る総合的な評価は、概ね良好な水準にあるといえる。

そのような中でも一つ一つの結果に目を向けてみると、ポイントの低い項目がある。教職員、生徒、保護者のそれぞれのアンケートについて、次項で考察し課題を明らかにしていきたい。

Ⅲ アンケートごとの評価

教職員の自己評価アンケートについて

教職員の回答は平均の評価ポイントが2.5を下回るマイナス評価はなかったが、プラス評価の中でも評価の比較的低い項目は以下の2つであった。

17「あなたは、学校の教育活動について、お便りやホームページを通して保護者や地域に広報していますか」 平均点2.9

18「あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っていますか。」 平均点2.7

【考察・改善策】

「あなたは、学校の教育活動について、お便りやホームページを通して保護者や地域に広報していますか」の項目が低い評価になっているが、各分掌でたより等の広報活動は昨年以上にしている。学校だよりは月複数回発行されており、学年だより、各種たよりもそれぞれの分掌から定期的に発行されている。ただ、校務分掌において直接的に関わらない職員もいることが、数値に反映されている。

HPの活用・広報については、「学校のひろば」を充実させていくよう、組織を整え、活用を図っていく。

「地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っていますか」については、コロナ禍の制限はあるものの、昨年度に引き続き地域人材の活用を行っている。具体的には、部活動地域移行、いきいき教育人材の活用、職業講話などである。コロナ禍以前のような施設訪問は未だに制限があり、当面このような回答になるのは理解できるが、地域の教育力を活用していることを職員にも改めて周知していきたい。また各学年の計画に従い、生徒がこの地域で健やかにたくましく成長できるよう、学校以外のリソースを活用しながら、地域の力を取り込んで教育活動を進めていく。

生徒の評価アンケートについて

生徒の回答は平均の評価ポイントが2.5を下回るマイナス評価はなかったが、プラス評価の中でも評価の比較的低い項目は以下の3つであった。

11「わたしは、授業中に自分の考えを伝えている」 平均点 2.6

12「わたしは、家庭学習（宿題や自主学習、塾・家庭教師との勉強）をしている」 平均点 2.9

13「わたしは、読書をしている」 平均点 2.7

【考察・改善策】

「わたしは、授業中に自分の考えを伝えている」の項目については「いつも伝えている」「伝えている」と回答した生徒は、53.3%と約半数、「伝えていない」という回答は12%であった。昨年度から一人一台端末の利用が始まり、授業の中で積極的に生徒に活用されている。コロナ禍での話し合いや活動の制限があるものの、課題に対して生徒が自分の考えをまとめ、グループで交流している学習の様子を見ると、伝え方として、音声にはならないが、端末活用により自分の考えを伝えることができている生徒は、実際もっと多いのではなかろうかと推察する。さらに、スリンプルプログラムを取り入れた「くっしータイム」は全校体制で計画的に実施されており、目的意識を持ち指導している教職員の自己評価は97%にのぼる。教師は「自分の考えを伝えさせよう」としているが、生徒の実感としてそれほど高くないとすれば、今後、日々の授業の中で対話場면을効果的に取り入れることや、端末活用によっても自分の考えを伝えているということを実感させていきたい。

「わたしは、家庭学習（宿題や自主学習、塾・家庭教師との勉強）をしている」の項目については、「あまりしていない」「していない」という生徒の回答が30%近くあったことが、大きな課題である。3学年が実施した全国学力把握調査においても、家庭学習への取り組みには課題が見られた。学校では、定期テスト前には、学年生徒会を中心に学年ごとに家庭学習の取り組みを行い、家庭学習に取り組むことに苦手な生徒の底上げにも取り組んでいるが、今回のアンケートからは継続的に家庭学習に取り組めていないことが見て取れる。今後、授業の内容と家庭学習が有機的に結びついているのか、生徒の家庭での過ごし方等調査し、それにより対策を講じていく必要がある。

「わたしは、読書をしている」の項目については、「よく読んでいる」「読んでいる」と回答した生徒が55.2%であった。教職員が読書の指導をしていると91%が肯定的に回答した数値と、生徒が取り組んでいると回答した数値に大きくギャップがあることがわかった。火～金の10分間の朝読書の時間が、生徒にとって貴重な読書時間だといえる。今後も朝読書の時間をしっかり確保していくことを必須とし、生徒の自治活動や秋の読書週間など効果的な読書推進を探っていく。

保護者の評価アンケートについて

保護者の回答は平均の評価ポイントが 2.5 を下回るマイナス評価項目が 1 つあり、さらに評価ポイントが 2.5 を下回ってはいないが、マイナス傾向の割合が高い項目は以下の 2 つであった。

9「学校は、保護者・地域住民からの声に耳を傾けていますか」 平均点 2.4

2「お子さんは、授業の内容がわかっていると思いますか」 平均点 2.7

4「お子さんは、家庭学習（宿題や塾・家庭教師との勉強を含む）をしていますか」
平均点 2.8

【考察・改善策】

「学校は、保護者・地域住民からの声に耳を傾けていますか」の項目については、「あまり思わない」「思わない」という否定的な回答は 5.4 % であった。開かれた学校として今後も保護者・地域の声に耳を傾けるよう、方法の一つとして I C T 機器を活用しながら、意見を求める機会を設けていく。

「お子さんは、授業の内容がわかっていると思いますか」及び「お子さんは、家庭学習（宿題や塾・家庭教師との勉強を含む）をしていますか」の項目については、2 つの関連性が高く、子どもの授業内容理解と家庭学習の充実については保護者に不安があることがわかる。校内研に積極的に職員が参加し、自らの授業について生徒目線に立った「授業改善」をさらに進めていくことが大切である。また、「家庭学習」に関しては、生徒の評価アンケートの項でも触れたが、実態調査等を実施し、それにより保護者にも状況を提示し、改善につなげる方法を探っていきたい。

保護者より学校へのご意見・ご要望（抜粋）

1, 家庭学習の充実と学力向上について

【保護者からのご意見】

- ・授業が理解できないようなのでわかるように教えてほしいです。
- ・テスト取組が十分にできるようゆとりをもって範囲を設定してほしい。
- ・テスト前の課題がテスト勉強というより提出のための作業になってしまっているように感じています。
- ・テスト前は家庭学習にも集中して取り組ませ、メリハリのある学校生活をさせたいと思っている。テスト勉強ができるよう部活停止期間を長くしていただきたいです。

【学校の対応】

- ・文部科学省より示された「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に、本校でも校内研や教科部会を軸に取り組んでおります。2 学期以降も、生徒にとってわかりやすく、意欲的に取り組める授業を目指して、授業改善を図っていきます。
- ・テストについては、2 週間前に範囲表と計画シート等を生徒に配布しています。しかしながら、1 学期の定期テストにおいて、範囲が示された後の取組期間にゆとりがなかったとのご指摘がありました。テスト範囲を設定する際には、生徒の取組の期間や負担を考慮し設定をしていく

ことを再度、職員会議で確認致しました。

- ・テスト前の学習に関しては、各教科で、テスト問題の内容に関わる課題プリントやワークを生徒に取り組ませています。今後、テスト前の生徒の負担等を考慮しつつ、課題提出の時期や量、確認方法等について教科で検討してまいります。
- ・定期テストに係る部活動停止期間については、来年度の課題として検討を進めております。また、今年度の2学期以降は、定期テストをこれまでの1日から2日間にし、生徒が余裕をもって取り組めるよう日程の変更を致します。

2, 学校のきまりについて

【保護者のご意見】

- ・カバンが重すぎて登下校が大変である、また、髪型の説明をしてほしいというご意見がありました。

【学校の対応】

- ・「橿形中学校のきまり」に関しましては、保護者に新入生説明会で周知しています。生徒には入学後、オリエンテーションを実施しています。個々の問い合わせにつきましては、個別に、ご理解いただけるよう対応しております。また、カバンの中身につきましては、実技教科に関するものは学校に置いておくよう生徒に指導をしています。
- ・今後は、学校生活のきまりについて、今まで以上に保護者と情報共有できるような手法を検討することとし、きまりが時代に即したものとなるよう、学校、生徒、保護者が意見を出し合いながら、検討を進めてまいります。

3, 部活動について

【保護者のご意見】

- ・部活動時の生徒への指導について、上手・下手だけではなく、子供たちが互いに認め合い、精神的にも成長できるような雰囲気作りのご指導をお願いします。

【学校の対応】

- ・本校の「部活動ガイドライン」に示したねらいを達成するため、職員間で研修などを通して共通理解を図ってまいります。

〈橿形中学校 部活動ガイドライン 「ねらい」〉

- ・学級や学年の枠を越えて、スポーツや文化活動に共通の興味と関心を持つ同好の生徒によって、主体的な活動と運営を行うことで、豊かな人間性の育成を図る。
- ・自己の能力に応じた技能や記録の向上を目指して活動を行い、主体的、意欲的な生活態度を養う。
- ・生徒一人一人の目標と課題を尊重し、仲間と協力し合い、スポーツや文化活動の喜びや楽しさを味わい、豊かな学校生活を経験させる。
- ・それぞれのスポーツ文化を学び、その種目について理解し、自信を持たせる。
- ・一人一人の個性を生かしながら、リーダーを育成し、自主的、意欲的に活動できる生徒を育成する。
- ・地域の教育力を生かし、開かれた部活動運営に努める。
- ・活力があり、充実した部活動運営に留意する。

4, 家庭との連携・広報について

【保護者のご意見】

- ・コロナ禍であっても、なんとか学校行事の参観を復活させてほしいです。このままだと子どもたちの様子が全くわからないまま3年間が終わってしまい、とても残念です。（ご意見多数）
- ・学校からの情報が全く入って来ないのでとても不安です。学年便りや学級通信を見せないで、今の状況がわかりません。
- ・子供達に配布しているお知らせを全て、保護者にも電子ファイルで送付してほしいです。

【学校の対応】

- ・文部科学省から出されている衛生管理マニュアルに従い、市教委とも相談しながら、各種行事を実施しております。その中で保護者・地域の皆様に参観していただける機会をできるだけ増やすよう、その都度、感染状況に合わせて検討し実施しております。
- ・情報の周知方法については、紙面と併用してメール機能を使うなど、情報発信の方法について検討し、改善を図っていく予定です。

5, 相談体制の充実について

【保護者のご意見】

- ・一人ひとりから5分ずつでもいいので、子供と先生の1対1で話せる機会を設けてあげてほしい。何も言えず自分一人で悩んでいたりと、押し込んで我慢してしまっている子供が多いと思うので子供に寄り添ってほしい。

【学校の対応】

- ・すでに本校では各種アンケート実施後、個別に生徒が相談できる機会を設けています。具体的には、本校の「いじめ防止基本方針」の指導計画に沿った「心配事アンケート」を毎学期2回、いじめを含む「生活アンケート」を年3回実施し、その際、担任が話を聞き取るなどの対応を行っています。今後、さらに教育相談体制の充実が学校全体で計画的に図られるよう、検討してまいります。

6, その他

【保護者の皆様から学校へ】

- ・部活動の先生方には、朝、放課後、休日と大変お世話になっており、感謝しています。部活動が毎日の楽しみになっています。
- ・いつも大変お世話になっております。
- ・コロナの収束の兆しがなかなか見えない中、様々なことにお心配りをいただきながらのご指導に心より感謝いたします。
- ・保護者として、協力できることには積極的に参加したいと思っております。
- ・今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・いつも適切にご対応いただきありがとうございます。(多数のご意見)
- ・たくさんの先生方が声をかけてくれたり、話を聞いてくれた事をよく話してくれます。学校の様子が分かり、会話が楽しいです。
- ・担任の先生、顧問がとても親切に対応してくださり、とても感謝しています。
- ・いつも寄り添っていただきありがとうございます。何かあった時すぐに対処してくれる先生がいてくれて、本当に心強いです。